

別表第一

1. 鉄筋コンクリート造（基礎用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	はりの符号	—	—
	はりの位置	—	—
	検定位置	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	主筋の種類及び品質	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	あばら筋の種類及び品質	—	—
	あばら筋の本数及び径及び間隔	—	—
	l	部材の長さ	ミリメートル
	l ₀	部材の内法長さ	ミリメートル
	B	はり断面幅	ミリメートル
	D	はり断面せい	ミリメートル
	d	はりの有効せい	ミリメートル
	b	床版の幅	ミリメートル
j	応力中心距離（7/8d）	ミリメートル	
応 力	M _L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q _L	長期せん断力	キロニュートン
	M _E	地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q _E	地震時せん断力	キロニュートン
	M _S （上端・下端）	短期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M _V （上端・下端）	降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル

	Q_D	短期設計用せん断力	キロニュートン
曲 げ	M_{AL}	長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_{AS} (上端・下端)	短期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_L / M_{AL}	—	—
	M_S / M_{AS}	—	—
	判定結果	—	—
せん 断	Q_{AL}	長期許容せん断力	キロニュートン
	Q_{AS}	短期許容せん断力	キロニュートン
	Q_L / Q_{AL}	—	—
	Q_D / Q_{AS}	—	—
	判定結果	—	—
付 着	τ_a	付着応力度	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	f_a	許容付着応力度	一平方ミリメートルにつきニュ ートン
	τ_a / f_a	—	—
	判定結果	—	—

2. 耐力壁用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	耐力壁等の符 号	—	—
	耐力壁等の位 置	—	—
	材料 (枠組材)	—	—
	規格 (枠組材)	—	—
	樹種 (枠組材)	—	—
	等級 (枠組材)	—	—
	材料 (面材)		
	規格 (面材)		
	等級 (面材)		
	使用部位	—	—
	枠組材と面材 の接合具		
	規格 (接合具)		
	等級 (接合具)		
	F_c	基準強度 (圧縮)	一平方ミリメートルにつきニュ

		ートン
F_t	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
F_b	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
F_s	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
F_{cv}	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{CL}	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{TL}	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{BL}	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{CS}	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{TS}	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
F_{jy}	接合部の基準許容応力	接合具一本につきニュートン
f_{jyL}	長期の応力に対する接合部の許容応力	接合具一本につきニュートン
K_{1-1}	使用環境Ⅰにおける枠組材または面材の含水率の調整係数	—
K_{1-2}	使用環境Ⅱにおける枠組材または面材の含水率の調整係数	—
K_2	枠組材または面材の荷重継続時間の調整係数	—
K_3	枠組材または面材の事故的な水掛りを考慮した調整係数	—
K_{j1-1}	使用環境Ⅰにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
K_{j1-2}	使用環境Ⅱにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—

	K_{j2}	接合部の荷重継続時間の調整係数	—
圧縮 応力 又は 座屈 荷重	P_{cl} 又は σ_{cl}	長期座屈荷重又は長期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	P_{cs} 又は σ_{cs}	短期座屈荷重又は短期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	圧縮応力判定結果	—	—
	λ	有効細長比	—
	f_{buS}	短期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{buL}	長期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	座屈判定結果	—	—
脚部・頭部の引張り	P_{NS}	短期引張り荷重	キロニュートン
	短期引張り荷重の計算方法	—	—
	脚部・頭部の接合部の仕様	—	—
	脚部・頭部の接合部使用材料の規格、等級	—	—
	F_{jy}	接合部の基準許容応力	接合部一箇所につきキロニュートン
	K_{j1-1}	使用環境Ⅰにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
	K_{j1-2}	使用環境Ⅱにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
	K_{j2}	接合部の荷重継続時間の調整係数	—
	f_{jS}	脚部・頭部の接合部の短期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
	f_{jL}	脚部・頭部の接合部の長期の応力に対する引張りの許容耐力	接合部一箇所につきキロニュートン
接合部検定結果	—	—	
曲げ	ω_s	(短期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bs}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{bs}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュ

		—	—
	応力判定結果	—	—

3. 根太又は床組・小屋組等横架材用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	根太等の符号	—	—
	根太等の位置	—	—
	材料（枠組材）	—	—
	規格（枠組材）	—	—
	樹種（枠組材）	—	—
	等級（枠組材）	—	—
	材料（面材）		
	規格（面材）		
	等級（面材）		
	使用部位	—	—
	F_c	基準強度（圧縮）	—平方ミリメートルにつきニュートン
	F_t	基準強度（引張り）	—平方ミリメートルにつきニュートン
	F_b	基準強度（曲げ）	—平方ミリメートルにつきニュートン
	F_s	基準強度（せん断）	—平方ミリメートルにつきニュートン
	F_{cv}	基準強度（めり込み）	—平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CL}	長期許容圧縮応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TL}	長期許容引張り応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BL}	長期許容曲げ応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SL}	長期許容せん断応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
f_{CS}	短期許容圧縮応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン	
f_{TS}	短期許容引張り応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン	

	f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SS}	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	部材群に面材をはる場合に曲げに対する基準強度に乗じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乗じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乗じる係数	—	—
	K_{1-1}	使用環境Ⅰにおける枠組材または面材の含水率の調整係数	—
	K_{1-2}	使用環境Ⅱにおける枠組材または面材の含水率の調整係数	—
	K_2	枠組材または面材の荷重継続時間の調整係数	—
	K_3	枠組材または面材の事故的な水掛りを考慮した調整係数	—
	E_b	曲げ弾性係数	一平方ミリメートルにつきキロニュートン
	K_{a-1}	使用環境Ⅰにおける枠組材または面材の含水率の剛性調整係数	—
	K_{a-2}	使用環境Ⅱにおける枠組材または面材の含水率の剛性調整係数	—
	K_b	枠組材または面材のクリープの剛性調整係数	—
	K_c	枠組材または面材の事故的な水掛りを考慮した剛性調整係数	—
曲げ	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン

	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{bL}	長期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	Z	断面係数	立方ミリメートル
	応力判定結果	—	—
	I	断面二次モーメント	ミリメートルの四乗
	δ_b	曲げたわみ	ミリメートル
	クリープ変形増大係数	—	—
	たわみ検定結果	—	—
せん断	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{sL}	長期せん断応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{sS}	短期せん断応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	応力検定結果	—	—
めり込み	σ_{cvL}	長期めり込み応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{cvS}	短期めり込み応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	許容めり込み応力度調整係数	—	—
	応力検定結果	—	—
接合部	Q_{jL}	接合部長期せん断荷重	キロニュートン
	Q_{jS}	接合部短期せん断荷重	キロニュートン
	接合仕様	—	—
	接合部に使用する材料の種類・規格・等級	—	—
	F_{jy}	接合部の基準許容応力	接合具一本につきニュートン

K_{j1-1}	使用環境Ⅰにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
K_{j1-2}	使用環境Ⅱにおける接合部の含水率の耐力調整係数	—
K_{j2}	接合部の荷重継続時間の調整係数	—
f_{js}	接合部の短期の応力に対する引張りの許容耐力	キロニュートン
f_{jL}	接合部の長期の応力に対する引張りの許容耐力	キロニュートン
応力検定結果	—	—

4. たる木用

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	たる木の符号	—	—
	たる木の位置	—	—
	材料	—	—
	規格	—	—
	樹種	—	—
	等級	—	—
	使用部位	—	—
	断面	—	平方ミリメートル
	間隔	—	ミリメートル
	F_c	基準強度（圧縮）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_t	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_b	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_s	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_{cv}	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CL}	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{TL}	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	
f_{BL}	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	
f_{SL}	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	

			ートン
	f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CS}	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TS}	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SS}	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乘じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乘じる係数	—	—
曲 げ	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	部材群に面材をはる場合に曲げに対する基準強度に乘じる係数	—	—
	Z	断面係数	立方ミリメートル
	σ_{bL}	長期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	応力判定結果	—	—

5. 床組・小屋組用

項目又は記号	内容	単位
--------	----	----

諸 条 件	床・小屋組の 符号	—	—
	床・小屋組の の位置または 範囲	—	—
	枠組材の規 格、樹種、等 級及び使用部 位	—	—
	枠組材の断面	—	平方ミリメートル
	枠組材の間隔	—	ミリメートル
	面材の規格、 樹種及び等級	—	—
	面材の厚さ	—	ミリメートル
	面材の寸法	—	ミリメートル
	接合仕様	—	—
	接合に使用す る材料の規 格、材質及び 等級	—	—
	せ ん 断	Q_s	(短期) せん断力
床倍率		—	—
Q_a		短期許容せん断耐力	一メートルにつきキロニュートン